



運営委員会 会長
小野 寺 敬 作

あけましておめでとうございます。謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

J・Aいわてグループの会員J・A農家組合員役員の方々の皆様におかれましては、例年とは違った環境下でのお正月をお迎えなされているところもあろうかと思えます。あらためて、新型コロナウイルス感染症の早期終息を願うところです。

昨年は年初めから新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出制限や催事イベント等の中止が相次ぎ、全国的に経済活動が停滞しました。このことから、農畜産物においても「部目目において消費の停滞を余儀なくされ、価格低迷を引き起こす事態となりました。本会といたしましては行政機関との連携をすすめ、生産継続に向けた対策やインターネット販売の拡充による新たな販売方法での販売促進をすすめることで、農家組合の皆様への販売促進をサポートしてまいりました。

現時点においても国内経済活動の先行きは不透明ですが、引き続き対策を講ずることで農家所得の安定確保に寄与してまいります。

さて、国内の農業J・Aを取り巻く情勢を見ますと、令和2年3月31日に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」において、「中小家族経営など多様な経営体の生産基盤の強化をつうじた農業経営の底上げ」を基本方針に掲げており、まさに協同組合が果たすべき役割に期待されています。

しかし、足元をみますと高齢化等による廃業や離農が拡大し、生産基盤の縮小がすすんでいます。またJ・Aにおいては、金融緩和政策により一層すすむなかで、金利低下による信用事業等の収益低下など大変厳しい状況となっており、営農経済事業改善にかかる期待がより高まっています。

このように国内農業やJ・Aを取り巻く環境が大きな転換期を迎えている中、本会は今年3か月計画の最終年となる本年、「第45回J・A岩手県大会」の決議を踏まえ、「純情産地いわての生産基盤の拡充」「県産農畜産物の販売力強化」「生産者手取り最大化に向けたトータルコストの低減」を具体化する施策の総仕上げとして取り組みをすすめてまいります。あわせて、5年後、10年後を想定し、J・A経済基盤の強化をおこなうため各連合会と協力のもと支援を拡充してまいります。

また、コロナ禍ではありますが引き続き「純情産地いわて」が生産者・消費者双方から支持されることで、将来にわたり県内農家組合員が安心して営農活動が継続できる生産基盤を確立できるように、引き続き職員一丸となって取り組んでまいります。

新しい年を迎え、本年も皆様方の変わりぬご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



県本部長
畠 山 俊 彰

新年明けましておめでとうございます。令和3年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による消費の低迷や展示会等の中止により、本会事業も大きな影響を受けた1年となりました。また会員J・A農家組合員の皆様におかれましても、多大なるご苦労があったことと思えます。

このような情勢の中、本会においては今年3か月計画の2年目として、①純情産地いわての生産基盤拡充、②県産農畜産物の販売力強化、③生産者手取り最大化に向けたトータルコスト低減の重点施策に取り組むとともに、5年後・10年後を見据えた事業プランを実践してまいりました。

今年3か月計画の最終年となる本年はこれら重点施策の総仕上げとして、次の施策を中心に取り組みをすすめてまいります。

生産者への生産拡大支援事業拡充による「生産基盤対策の拡充」。米穀・園芸・畜産品目の販売強化に向けた直接販売の拡大や付加価値販売の実践による「県産農畜産物の販売力強化」。くわえて、「生産者手取り最大化に向けたモデル経営体」実施実績の横展開の拡大や、生産資材の農家戸配物流体制の拡充およびWeb受注システムの導入検討などによる「コスト低減対策」

を講ずることで農家組合員の皆様効果が実感できる施策を実施してまいります。

また、J・A経済事業改革への対応については「J・A事業分量の拡大」「営農経済事業改革」を最大の支援策と捉え、未利用・低利用農家への推進やJ・A事業の効率化支援を中心に会員J・Aとともに取り組んでまいります。

今後においても、新型コロナウイルス感染症拡大による農業生産販売活動の先行きは不透明ではありますが、本会は、J・A組合員の皆様の声と真摯に向き合いながら、皆様のご期待に応えてまいります。そのために、より着実にかつ迅速にJ・A自己改革の実践をすすめ、しっかりとした成果をあげることで岩手の農業の発展および農家組合員の所得増大のために邁進していく所存でございます。

本年も引き続き皆様方より一層のご支援とご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



レッツトライ クッキング!

Let's try cooking

orders 19

料理監修/高橋ヒサ子
管理栄養士・いわて糖尿病療養指導士

▼材料(2人分)

- 切り餅…2個
- 豚(または鶏)挽き肉…100g
- ねぎ…2分の1本
- ニンニク、生姜、鷹の爪…各少々
- 塩、コショウ…少々
- 調味液(めんつゆ、酒、オイスターソース…各大きじ1
中華スープの素、豆板醤…各少々、水…50cc)
- 片栗粉、ゴマ油、あさつき…各少々

▼作り方

- 1 餅を好みの大きさに切り、オーブントースターで焼いておく(油で揚げてよい)。
- 2 ねぎ、ニンニク、生姜はみじん切りにしておく。
- 3 ボウルに調味液を作っておく。
- 4 油を少々敷いたフライパンでみじん切りのニンニクと生姜を炒め、そこへ挽き肉を入れて軽く塩・コショウをし、さらに炒める。
- 5 ④の挽き肉の色が変わったら、みじん切りのネギと鷹の爪を加えてさらに炒める。
- 6 ⑤へ⑥の調味液を加えて全体に味をなじませたら、水溶きた片栗粉でとろみをつけ、仕上げにゴマ油を回しかける。
- 7 器に①の餅を敷き、その上に⑥をかけて、最後にみじん切りのあさつきをトッピングする。

お餅を中華味で楽しむ

まーぼーもち
麻婆餅

食×スポーツ

JA全農いわては、スポーツを頑張る全ての人を応援しています！
 岩手県の高校サッカー・高校ラグビーの全国大会出場校に対して全国大会での活躍を期待し
 支援金と県産食材を贈呈しました。
 切っても切り離せない関係にある「食」と「スポーツ」。スポーツに打ち込む学生へ、岩手
 県産の食材でエールを送ります！



遠野高校サッカー部



専大北上高校女子サッカー部



黒沢尻北高校ラグビー部



盛岡工業高校ラグビー部

盛岡工業高校ラグビー部

JAいわて中央
 11月27日(金) JAいわて中央本所

「第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会」に岩手県代表として出場する岩手県立盛岡工業高校ラグビー部に県産豚肉1頭分やJAいわて中央産「ひとめぼれ」60kgなどを贈呈しました。



贈呈式には、JAいわて中央の浅沼清一組合長やJA全農いわての高橋司副本部長、同校の南館秀昭校長、小原義巧監督、兼平歩雅主将らが出席しました。浅沼組合長は「盛工ラグビー部は歴史と伝統があるので出場を決めていただき大変嬉しい。持っている力を存分に発揮して岩手の力を示していただきたい」高橋副本部長は「100回という記念の大会での出場は大変めでたいこと。岩手の名を全国に知らしめるような活躍を期待している」と激励しました。

黒沢尻北高校ラグビー部

JAいわて花巻
 12月1日(火) 岩手県立黒沢尻北高校

「第100回全国高校ラグビー大会」に東北ブロック代表として出場する岩手県立黒沢尻北高校ラグビー部に県産豚肉1頭分や北上産米「ひとめぼれ」120kgなどを贈呈しました。



贈呈式には、JAいわて花巻の金田伸代表理事副組合長やJA全農いわての管理部三浦瑞明次長、同校の泉悟校長、小田島康人監督、渡邊星輝主将らが出席しました。
 金田副組合長は「全国でも良い成績を残してくれると期待している。万全な形で奮闘してきてほしい」三浦次長は「試合数もこなしてコンディションは上がっていると思う。全国で暴れてきてもらいたい」と激励しました。

第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会

競技日程：令和2年12月27日(日)～令和3年1月9日(土)

専大北上高校女子サッカー部

JAいわて花巻
 12月8日(火) 専大北上高校

「第29回全日本高校女子サッカー選手権大会」に岩手県代表として出場する専修大学北上高校女子サッカー部に県産豚肉1頭分や北上産米「ひとめぼれ」120kgなどを贈呈しました。



贈呈式には、JAいわて花巻の金田伸代表理事副組合長やJA全農いわての高橋司副本部長、阿部伸校長、佐藤徳信監督、泉穂奈美主将が出席しました。
 金田副組合長は、「5年連続出場は、もう全国大会の常連校。一戦必勝で頑張ってきてほしい」高橋副本部長は「この調子で勝ち進み、ぜひ岩手に優勝旗を持ち帰ってもらいたい」と激励しました。

遠野高校サッカー部

JAいわて花巻
 12月10日(木) 遠野高校

「第99回全国高校サッカー選手権」に岩手県代表として出場する岩手県立遠野高校サッカー部に県産豚肉1頭分や遠野産米「あきたこまち」120kgなどを贈呈しました。



贈呈式には、JAいわて花巻の伊藤清孝組合長やJA全農いわての管理部佐竹部長、同校の三浦立校長、佐藤邦祥監督、高橋和志主将らが出席しました。
 伊藤組合長は「県産食材を食べる力をつけチーム一丸で戦ってほしい」佐竹部長は「いわてのお米のように粘り強いプレーを期待している。遠野旋風を巻き起こして欲しい」と激励しました。

第29回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

競技日程：令和3年1月3日(日)～1月10日(日)

第99回全国高校サッカー選手権

競技日程：令和2年12月31日(木)～令和3年1月11日(月・祝)

● 白熱した試合が行われました

令和2年12月12日(土)～13日(日)

第14回 ミックスダブルスカーリング選手権大会 岩手県予選

「2018平昌オリンピック」にて日本中に旋風を巻き起こしたカーリング競技。JA全農は、2010年からカーリング女子日本代表オフィシャルスポンサーとして、各主要大会に特別協賛を行ってきました。

JA全農いわてでは前々大会から「ミックスダブルスカーリング選手権大会岩手県予選」の特別協賛を務め、岩手のカーリング競技を応援しています。

令和2年12月12日(土)～13日(日)盛岡市のみちのくコカコーラボトリングリンクにて「JA全農いわて純情産地いわて杯第14回岩手県ミックスダブルスカーリング選手権大会」が開催されました。「ミックスダブルス」は男女のペアでチームが構成され、今大会には計10チームが参加しました。5チームに分かれた予選リーグが行われ、各リーグ上位2チームが決勝トーナメントに進出。優勝をかけて熱戦を繰り広げました。

本会からは、優勝賞品として「いわて純情プレミアムカタログギフト」を贈呈しました。また、参加賞として「いわて純情りんご冬恋(はるか)」を全チームに提供しました。

今大会の上位3チームには、令和3年1月23日(土)～24日(日)に青森市のみちぎんドリームスタジアムで開催される「第14回東北ミックスダブルスカーリング選手権大会」への出場資格が与えられました。



「イエス」と掛け声をかけ息を合わせます ハアで力を合わせ優勝を目指します



管理部三浦次長より優勝したペアへ「カタログギフト」が贈呈されました

● いわて牛を食べて羽ばたけ全国へ

令和2年12月20日(日)

第8回 JA全農いわて いわて牛カップS-1卓球グランプリ

令和2年12月20日(日)岩手県花巻市総合体育館にて「第8回JA全農いわていわて牛カップS-1卓球グランプリ兼第18回全国ホープス選抜卓球大会・岩手選抜代表選手選考会」が開催されました。県内小学生総勢75名の卓球少年・卓球少女が出場し学年別に分かれ、日頃の練習の成果を出し合いました。

上位入賞者へ、副賞としてトロフィーの進呈、畜産酪農部林部長より「いわて牛ロースすき焼き用」などを贈呈し、食とスポーツは密接な関係にあることを伝えました。

岩手県選抜に選ばれた選手は、令和3年3月27日(土)～28日(日)に徳島県鳴門市で行われる全国大会へ出場します。



日頃の練習の成果を出し合いました



入賞者で記念撮影をしました

● 「NHK歳末たすけあい募金」へ寄付

令和2年12月8日(火)

社会貢献活動を支援

JA全農いわては、現在NHKが窓口となっている「NHK歳末たすけあい募金」への寄付を目的に11月1日(日)～11月30日(月)までの1か月間、募金活動を行いました。

「NHK歳末たすけあい募金」への寄付は、JA全農が毎年取り組んでいる社会貢献活動です。

全国の都府県本部が募金活動を行いNHK各局へ寄付をすることで、日本国内で支援を必要とする方々への支援活動の一助となることを目的としています。

本会の県内各事業所や関連会社・本会直営店「みのるダイニング」の店頭などに募金箱を設置し、職員や店舗への来店客を対象に募金を呼びかけました。

集まった募金は、12月8日(月)に本会高橋司副本部長からNHK盛岡放送局の大久保嘉二局長へ寄付金を贈呈しました。



高橋副本部長から大久保局長へ寄付金を贈呈しました



NHK各放送局を通じ、共同募金会へ寄付をしています

● 経営・技術の視点から手取りアップに向けた取り組みを共有

令和2年12月10日(木)

第1回農家手取り最大化プロジェクトセミナー

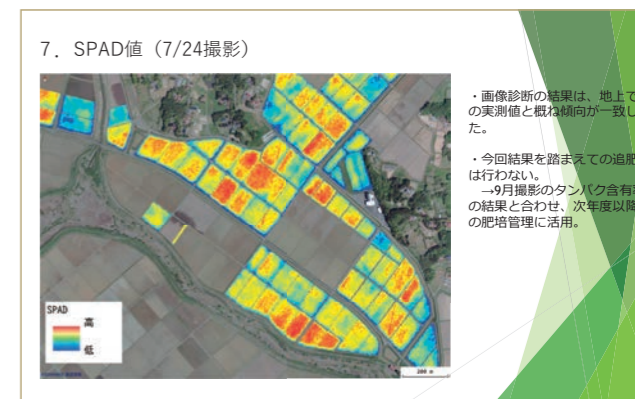
JA全農いわては、令和2年12月10日(木)、ホテルグランシェール花巻で「第1回農家手取り最大化プロジェクトセミナー」を開催。これまでJAと本会が連携して取り組んできた「農家手取り最大化プロジェクト」の成果や経営・技術面で役立つ情報を共有する場として、モデル経営体・JA・関係者62名が参加しました。

開会にあたり本会高橋副本部長から、「農家手取り最大化プロジェクトは、生産コスト低減や販売力強化に向けた実践メニューに取り組み、農家の所得向上を目指している。成果が上がったメニューは、JAと協力して全県下に広め、農業振興に貢献したい」と挨拶しました。

セミナーで実践メニューの成果や、経営改善やスマート農業の取り組みについて、聴講したモデル経営体からは、「将来の雇用を考える上で、作業の見える化が必要なポイント」、「今後は、スマートフォンやパソコンを活用したデータ管理がより重要」等の声が寄せられ、今後の農業経営に役立つセミナーとなりました。



他県の大規模法人での経営改善事例紹介 (営農計画策定支援システム「Z-BFM」による作業体系・営農計画の見える化)



スマート農業の取組紹介(衛星センシング「天晴れ」による生育診断)

「純情産地いわて」

そこでは、純な自然の力と人々の情が通い合い、純情な農畜産物がすくすくと育っている。そんな「純情産地いわて」を支える、各事業部の取り組みをご紹介します。



INTRODUCTION

営農支援部

営農技術課 スマート農業の取り組み

(3) ICT 機器を活用した鳥獣害対策

県内 2 か所でシカおよびイノシシを対象とした、下草防除管理とあわせた電気柵防護試験を実施しました。また、狩猟期間中は ICT 捕獲システムを活用した捕獲対策の試験を行っています。



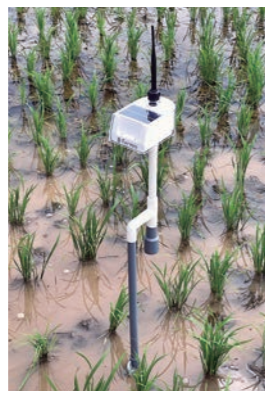
漏電による電圧低下を防ぐため、除草剤で下草を防除



トレイルカメラにより動物の行動パターンを監視

(4) 水田水管理システム

水田水管理の省力化のため、自動で水位を測定しスマートフォンへお知らせする水位センサー、設定した水位を保つように給水・止水を行う自動給水機の実証試験を行いました。水田水管理システムは県内でも急速に普及が進んでおり、圃場条件に適したシステムの試験を進めています。



水位センサー「水田farmo」
水位はスマホアプリで確認できる



試験を行った自動給水機3種
(農匠自動給水機・AquaPort・farmo給水ゲート)

(5) スマート草刈り機

草刈り作業の省力化・軽労化を目的に実証を行いました。ラジコン草刈り機は斜面の草刈り作業を安全かつ楽に行えることを確認しました。ロボット草刈り機は平場の果樹園等での除草作業を自動化することで省力化・人件費カットにつながりました。また、来年度に向けてスマート草刈り機のレンタル方式の検討を進めています。

その他にもドローンによる散播直播や全農営農管理システム Z-GIS の普及推進などに取り組んでいます。



ラジコン草刈り機



ロボット草刈り機

3. 営農情報発信の取組み

実証した新たな技術等は、研修会の開催や各地域の座談会等で提供していく予定です。また、今年度より運用している公式 LINE アカウント「JA 全農いわて営農情報」や、YouTube チャンネル「【JA 全農いわて公式】Let's TRY!! いわて営農チャンネル」でもより多くの生産者へ広く発信しています。



LINE
「JA全農いわて営農情報」



YouTube
【JA全農いわて公式】
Let'sTRYいわて営農チャンネル

1. はじめに

営農技術課では、生産現場での省力化・低コスト化への貢献を目指し、「スマート農業」の普及推進を行っています。今年度は、新たな生産技術等の現場実装を加速させるための各種実証試験を積極的に実施しました。

2. 各種実証試験

(1) V-NeKhs 仮想基地局 (衛星測位システム)

通常、自動操舵農機は固定基地局から補正情報を受信して高精度な作業を行います。V-NeKhs 仮想基地局は、建設が不要かつ低コストで運用できる補正情報配信の新しい方式です。

今年度は県内 4 か所で実証試験を行い、V-NeKhs 仮想基地局の実用性を確認しました。来年度は県内に 10 か所程度設置を予定しています。



ロボットトラクターによる耕耘作業



オート田植機による田植え作業

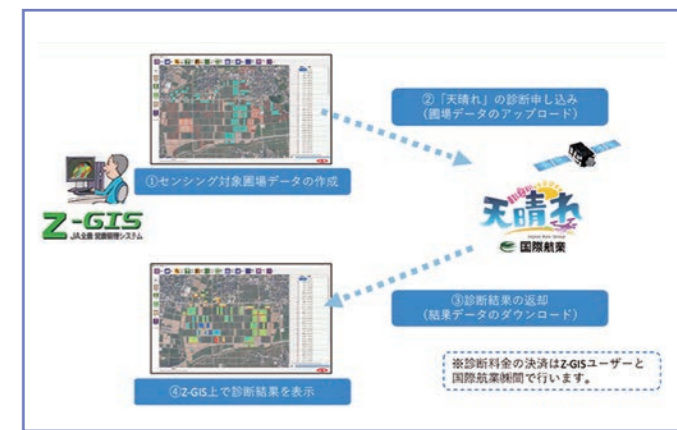
(2) 衛星リモートセンシング「天晴れ」

「天晴れ」は人工衛星が撮影した画像をもとに作物の生育診断を行う、衛星リモートセンシング技術です。全農営農管理システム Z-GIS と連携し、解析結果を Z-GIS 上でも見ることができます。

今年度は農家手取り最大化プロジェクトモデル経営体等で「天晴れ」を試行しました。「天晴れ」は既にサービス提供されておりますが、解析結果のさらなる活用の仕方を提案していきます。



天晴れの解析による水稲穂水分マップ



Z-GISとの連携イメージ



管理部 総務人事課
さくち なえ
菊池 真永さん

●趣味・特技

趣味はカラオケです。ひとりでフリータイム歌い続けられます！
特技は遠野物語の語り部(かたりべ)です。小学校の時に資格を取り、全国のいろんなところで披露していました。そのおかげで普段からなまっていることも多いです。

●現在の担当業務

会で利用するものの経費を支払ったり、出張の準備をしたり様々です。職員の皆さんが働きやすいようにサポートするお仕事をしています。

●これからどんな職員になってみたいか

目の前の業務だけでなく、広く長く仕事を見通してこなせる職員になりたいです。

●その他アピール

盛岡生まれ遠野育ちなので岩手愛はだれにも負けません！会の戦力になれるようにがんばりますので、たくさんご迷惑をおかけしていますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

JA全農いわたの
純情人
じゅん じょう びと



「東北六県絆米」
新パッケージリニューアル！

全農東北プロジェクトで企画開発を行なった「東北六県絆米」を、今年度パッケージリニューアルを行い、販売しています。

「全農東北プロジェクト」とは、東北の6県本部が力を合わせ、自慢の農畜産物をより多くの人に伝え、単県ではできなかったことを実践する取り組みです。

東北6県の農家が切磋琢磨して育てたお米を消費者の皆様にも味わってもらうとともに、東北に足を運んでもらいたいという想いをコンセプトとしています。東北の魅力を伝えられる贈答用として、また東北各県の6銘柄を食べ比べて自分好みのお米を見つけるご家庭用としても、ご活用いただける商品です。是非皆様お買い求めいただき、東北の美味しいお米を食べて下さい。



<商品概要>

商品名:東北六県絆米
規格:300g(約2合、脱気包装)×6銘柄
販売者:全農パルライス株式会社
希望小売価格:3,780円(税込)
販売先:JAタウン(全国おいしいお米発見)

<全農東北プロジェクトSNS>

皆さまの「フォロー」「いいね!」
「シェア」をお待ちしております!



Facebook: <https://www.facebook.com/zennoh.tohoku.project/>
Instagram: https://www.instagram.com/zennoh_tohoku_project/

全農 営農管理システム **Z-GIS** 全農 営農管理システム

Special Campaign

Z-GIS みんなで始めようキャンペーン

令和2年12/1 ▶ 令和3年3/31

期間限定

入会后、最長4か月間
利用料が無料

まずは検索!

全農 Z-GIS | X | 検索

園場情報の電子化・見える化

その他特典

紹介者は来年度1か月利用料が無料

動画

基本操作編

ユーザーインタビュー

紹介者は令和2年11月30日現在、Z-GIS会員(農家・農業法人会員)である必要があります。紹介者1名につき来年度利用料金1か月分が無料となります。2名までご紹介いただけます。(令和3年3月31日加入受付まで)

お問い合わせ JA全農いわた 営農支援部 営農技術課 電話: 019-638-6982

HP <https://z-gis.net/99/index.html>



祝 **15回記念** ご愛顧に感謝して

390名様 × **2倍** (サキユ)

抽選で合計 **780名様** にプレゼント!

いわての牛乳

ありがとうキャンペーン

2020/12/21 (月) ~ 2021/2/28 (日)

純情産地いわて 宣伝本部長 のん

リッチコース

がんばって集めて応募しよう!

20ℓ を一口としてご応募ください

C賞 2名様

任天堂 **Nintendo Switch Lite**

小さく、軽く、持ち運びやすい
※色はおまかせください

A賞 2名様

パナソニック **スチームオーブンレンジ NE-BS807**

時短調理ができる
「スチーム」モードで
「両面グリル」でこんがり

B賞 2名様

パナソニック **フェイススチーマー EH-SA3B**

お手入れのペースケア
コンバクトで手軽に
簡単エステ

D賞 2名様

まくらぼ **オーダーメイド枕ギフト券 <レギュラー>**

自分だけの枕で
快適な睡眠を!

※当選者は店舗での測定が必要です

E賞 2名様

岩鉄 **南部鉄器 キャセロール 大**

岩手の伝統、南部鉄器
多様な料理に対応するシンプルな形です
全長/30×23.5×H11.5cm 内径/23cm 深さ/8cm

スタンダードコース

賞品を選んで当てよう!

10ℓ を一口としてご応募ください

H賞 100名様

いわて純情米 銀河のしずく 5kg

白くてつややか、
かろやかな食感

どの乳業メーカーの商品が届くかはお楽しみに!

F賞 300名様

いわての牛乳 乳製品セット

いわて牛を
堪能しよう!

G賞 60名様

いわて牛 焼肉モモ・バラミックス

純情産地いわての
恵みを選んで
カタログギフト

I賞 10名様

いわて純情プレミアム
カタログギフト

※農協牛乳もキャンペーンの
対象となります

15回記念
オリジナルデザイン

J賞 100名様

ミルクおに QUOカード
1,000円分

Wチャンス 各100名様

リッチコースまたはスタンダードコースに
はずれた方の中から
抽選でいずれかが当たる!

いわての牛乳 オリジナルエコバッグ
W390mm×H430mm×D170mm マチ60mm

いわての牛乳 オリジナルフェイスタオル
バリエル 縦350mm×横850mm

※色はおまかせ
ください

※不測の事態が生じ賞品の入手が困難となった場合は現行相当品に変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。※写真はイメージです。※色はお選びできません。

対象メーカー

- ・(有)安比高原牧場
- ・(有)安比高原乳業(株)
- ・大石乳業(株)
- ・不二家乳業(株)
- ・(一社)葛巻町畜産開発公社
- ・(一社)田野畑村産業開発公社
- ・奥中山高原農協乳業(株)
- ・岩泉ホールディングス(株)
- ・(株)おおのミルク工房
- ・(株)湯田牛乳公社
- ・タカナン乳業(株)
- ・(株)岩手牛乳

応募方法

対象メーカーの牛乳パックに記載の公正マーク表示部分を10ℓ分
(※10ℓ分の応募例: 200ml×5本、500ml×2本、1ℓ×8本の計10ℓ)を
1口(リッチコースは20ℓ分を1口)として、専用応募封筒または一般封筒に必要事項を
明記の上、ご応募ください。お一人様何口でもご応募いただけます。

**公正マーク表示部分の種類別名称に「牛乳」以外の名称記載されているものは
キャンペーン対象外です。(※加工乳・乳飲料・はっ酵乳・乳酸菌飲料・チーズは対象外)**

応募締切 2021年2月28日(日) [当日消印有効]

純情産地 **JA全農いわて** | いわたの牛乳ありがとうキャンペーン事務局 [(株)岩手広告社内] | ☎0120-623-706 | JA全農いわて 検索

受付期間 2021年3月末日まで 受付時間 10:00~17:00 (平日のみ)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。読者の皆様にとって「モーれつ」に良い一年になりますように。本年もよろしくお願ひいたします。(星)

KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳に書かれている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願ひが込められています。



私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

私たち全農グループは、**生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋**になります。